

令和4年1月11日（火）

## 3学期始業式 ～いっぱいっぽの3学期に～

明けましておめでとうございます。今年もよろしく申し上げます。みなさんとまた、元気に会うことができた3学期の始まりもうれしくおめでたいです。

今年の干支は寅年です。寅年の人は手を挙げてください。実は、私も寅年です。「虎は千里行って千里帰る」と言われます。千里とはたいへん長い距離で、それを一晩で行って帰るほど、とても勢いのあることを表しています。寅年はきっとコロナに負けない勢いのある年になります。みなさんにとって2022年が自分のやりたいことに勢いよく進んでいく年になるといいなと思います。そんなみなさんを、先生方が、今年も一生懸命に応援していきます。

さて、自分の道を思い切り進んでいる二人の先輩から、学校に年賀状が届きました。二人は今、西東京市を遠く離れて、青森山田高校に通っています。一人は高校3年生女子、もう一人は高校1年生男子生徒です。二人とも、バドミントンの選手として全国大会や世界選手権にも出て活躍しています。二人が卒業しても芝小のことを忘れずに年賀状をくれるのは、自分にとって芝小で過ごした時間が自分たちを支える根っこだと感じているからではないでしょうか。根っこを思いうかべて葉書をくれる心は素敵だし、感謝を忘れない謙虚な姿勢は、これからも二人のがんばりを支えていくと思います。

青森山田の二人だけではありません。芝小を巣立ったたくさんの卒業生が、今も自分の夢を探したり、進んだりしています。そんな一人一人を校長先生は応援したいと思います。でも、今は、この場にいるみなさんを応援する気持ちが一番です。

今日からいよいよ3学期が始まります。6年生には、芝小を巣立っていくときがいよいよ近付いてきました。中学では何がしたいですか。どんな夢を描いていますか。「まだ何も・・・。」それも正直なところだと思います。

先ほど、虎は千里を行って千里帰る、と話しましたが、「千里の道も一歩から」という言葉もあります。どんなに大きな夢も、はじめの一歩を踏み出すことから始まり、そしてその一歩一歩をしっかりと進むことが大事だという教えます。夢に向かうことの例えが千里に行くことだとしたら、みなさんはやはり虎のように夢に向かってひとつ跳びというわけにはいきません。まずは新しい学年に向かって、やがては夢に向かうために、今やるべきこと、今やりたいこと、今できるようにになりたいこと、そんな一歩を大事に、いっぱいっぽを着実に進む3学期にしてください。そのために、今自分がしたいこと、しなければいけないことをよく考えて実行する3学期にしましょう。